

名優 渥美清さん没後20年 昭和の名作『男はつらいよ』シリーズ 今なお色褪せない魅力をTSUTAYAが提案

全国に1,478店舗のTSUTAYAを展開する株式会社TSUTAYA（本社：東京都渋谷区／代表取締役社長兼COO：中西 一雄／以下、TSUTAYA）は、没後20年で改めてその魅力が注目されている渥美清さんの代表作『男はつらいよ』シリーズの魅力をお伝えし、多くのお客様に知って頂く為に全国のTSUTAYA店頭にて、『男はつらいよ』シリーズのオススメコーナーを順次展開してまいります。



【『男はつらいよ』シリーズ店舗展開コーナー】

SHIBUYA TSUTAYA

また、NHK BSプレミアム※①では渥美清さんの魅力を再発見する特集や、「男はつらいよ」シリーズの共演陣らが語る貴重なインタビュー映像とプライベートを見せなかった渥美清さんの素顔にせまるドキュメンタリーなどが放送され、渥美清さんに関連する書籍も多数発売されるなど、各メディアでその魅力が再注目されています。

映画に人生を掛けた渥美清さんの生涯を知ること、改めて昭和の名作の一つであり、長寿シリーズとしてギネスブックにも登録されている名作『男はつらいよ』シリーズの人気の魅力を、国内最大級の映画レビューサービス「Filmarks（フィルマークス）※②」に寄せられたユーザーのレビューとともにご紹介します。

【映画レビューサービス「Filmarks」のユーザーが語る『男はつらいよ』4つの魅力】

▽その1 日本文化の魅力

日本の古き良き家族団欒やご近所同士のふれあい、人の暖かさや繋がりを改めて感じることができる。

- 古き良き時代の日本！！ちょいちょい寅さんシリーズ見ていこう。寅さんのお口の達者具合が見ていて楽しすぎる。相変わらずバカか？でコミュニケーションが成り立つ関係って素晴らしい。（20代、男性）
- 日本食は恋しくならないのに、日本の文化や風景はすごく恋しくなる・・・、そんなノスタルジーを感じるいい映画シリーズだなと改めて思われた。（20代、女性）
- 「男はつらいよ」初鑑賞。生まれる時代は選べませんが、平成生まれの僕にとって、いづらか羨ましく、一度生きてみたかった、と感じる映画だった。愚かな寅さん、その魅力は今の僕にも伝わり、心が晴れやかになる。これからゆっくと、順に寅さんの行方を見ていきたいな～。（20代、男性）



●「姓は車、名は寅次郎、人呼んでフーテンの寅と発します」昭和。下町・柴又で繰り広げられる根っからの江戸っ子人情劇。全48作、日本屈指の大河映画にして古き良き日本人の“バイブル”。不器用だけど義理堅い、誰からも愛される国民的キャラクターの寅さんの第1作。倍賞千恵子の庶民的美人感がドンピシャ。この世で一番好き。やっぱり結婚式のシーンだねえ。泣いて笑える人間賛歌。日本人、万歳。昭和に生まれたかった。（20代、男性）

▽その2 渥美清や昭和の名優達の魅力

“寅さん”の人柄に魅了！また、共演者との絶妙な掛け合いにホッとする。

- 不朽の名作。どの作品も同じパターンだけど飽きない。渥美清の演技力、寅のエリアに感動させられる。（20代、男性）
- 大好きです。森川信のおいちゃんとの掛け合いが最高です。何よりも寅さんが若くて無茶苦茶でアホで熱くて惚れっぽくて間抜けでおかしくて、とにかくエネルギーギッシユ。世界一の長寿シリーズ第1作の名に恥じない傑作です。（40代、男性）
- アホみたいに面白い。倍賞千恵子が可愛すぎる。老後はこれで決まり。（20代、女性）
- 最初は嫌い、でもどんどん好きになって、最後は大好き。寅さんってそんな人！笠智衆の「バタア〜」のくだりが可愛すぎる。そして老けて哀愁漂う志村喬。大好きなお二人の共演に大興奮です！！平成生まれなのに何故か懐かしい。日本の魂溢れる映画。（20代、女性）

▽その3 多彩なマドンナの魅力

毎回登場する“寅次郎”の恋のマドンナに、昭和を支えた銀幕の女優陣を振り返る。

- シリーズ第2弾。マドンナは佐藤オリエ。また見ちゃいました。今回のドタバタは前作よりは控えめ。だが、変わらず「あ〜この展開まずいよ〜」と思うと必ずオチが入る。で笑う…。山崎努や秋野太作が若い。倍賞千恵子は本当に美しく可愛すぎる。赤ちゃんが誕生していた。これを後に吉岡秀隆が演るのかあ。（40代、女性）
- 新珠三千代さんがかわいい。（20代、女性）

▽その4 ロケ地となった観光名所の魅力

映画で登場する様々な都市の町並みに、古き日本の町並みを再発見できる。

- 松竹が誇る山田洋次監督の文句なしの代表作。帝釈天の風景や登場人物まで完成された世界観の作品。こんな国民的人気映画シリーズは、これからはもう出てこないのかなあ。最後のシーンが天橋立だったから京都人としてなかなか感動した。（20代、男性）
- 48作続く映画の第1作目。周りの方に進めると反応がイマイチですが、これはやっぱり見るべき傑作なんですよね。これからの48作になるであろう為のエッセンスが詰まっています。寅さんの映画は恋と笑いと情緒溢れる全国津々浦々の美しい風景が魅力です。（20代、男性）

【「男はつらいよ」シリーズランキング】※2015年8月1日～2015年7月30日 全国のTSUTAYA調べ					
順位	タイトル	マドンナ	シリーズ：ロケ地	初公開年月	Filmmarks評点
1	男はつらいよ	光本幸子	第1作：奈良県奈良/京都府京都/京都府天橋立	1969/08	4,0
2	続・男はつらいよ	佐藤オリエ	第2作：京都府京都/三重県柘植	1969/11	3,8
3	男はつらいよ フーテンの寅	新珠三千代	第3作：三重県湯の山温泉	1970/01	3,5
4	新・男はつらいよ	栗原小巻	第4作：愛知県豊明市/大分県由布岳	1970/02	3,7
5	男はつらいよ 望郷篇	長山藍子	第5作：北海道札幌/北海道小樽/千葉県浦安	1970/08	3,6

TSUTAYAでは、昭和の名作を振りかえる「昭和キネマ横丁」コーナーを展開しておりました。今回、渥美清さんの没後20年を機に、改めて日本の名作に出会うきっかけづくりとして、『男はつらいよ』コーナーを設け、“寅さん”を鑑賞していないお客さまにその魅力を知って頂き、今なお色褪せない昭和の名作を通じて、お客様の感動体験が豊かになる機会となることを目指しています。



※①NHK BSプレミアム特集 番組情報

▽7月30日(土) 21:00:22:30 BSプレミアム

ザ・プレミアム「寅さん、何考えていたの?～渥美清・心の旅路～」

詳しくはこちら <http://www.nhk.or.jp/docudocu/program/3303/2225444/index.html>

▽8月4日(木) 20:00～21:00 BSプレミアム

没後20年 ドキュメンタリードラマ おかしな男～渥美清・寅さん夜明け前～

詳しくはこちら <http://www.nhk.or.jp/docudocu/program/92420/2420451/index.html>

▽8月5日(金) 9:00～10:41 BSプレミアム

プレミアムカフェ 渥美清の“寅さん”勤続25年(初回放送:1995年)

詳しくはこちら <http://www.nhk.or.jp/docudocu/program/3599/2315581/index.html>

▽8月9日(火) 23:45～0:45 BSプレミアム

アナザーストーリーズ「映画“男はつらいよ”～寅さん誕生 知られざるドラマ～」

詳しくはこちら <http://www.nhk.or.jp/docudocu/program/3444/1453032/index.html>

▽8月11日(木) 19:00～20:00 BSプレミアム

寅さん 鉄道ふれあい旅

詳しくはこちら <http://www.nhk.or.jp/docudocu/program/9999/9990021/index.html>

※②Filmarks(<https://filmarks.com/>)

TSUTAYAがオススメする国内最大級の映画レビューサービス。2016年7月に映画レビュー数2,000万を突破。映画の評価・レビューを簡単に投稿・チェックできる機能をベースに、「映画鑑賞記録」や「観たい映画のメモ・備忘録」「映画トークを楽しむコミュニケーションツール」として、多くの映画ファンの支持を受けています。